

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業  
（難治性疾患政策研究事業））  
「角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究」

分担研究報告書  
「前眼部形成異常に関するスコープ作成およびクリニカルクエスチョン設定」

研究分担者 榛村 重人 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 准教授  
研究協力者 羽藤 晋 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 特任講師

**【研究要旨】**

前眼部形成異常は、先天的に極めて重篤な視力障害をきたし、確立された治療法が無い指定難病である。今年度は、本研究班内での、前眼部形成異常作業班に加わり、Mindsに準拠した診療ガイドライン作成のためのスコープ作成およびシステマティックレビューに携わった。

**A. 研究目的**

本研究班では、難治性角膜疾患5疾患について、Mindsに準拠した方法でエビデンスに基づいた診療ガイドラインを作成し、これらを医師、患者ならびに広く国民に普及・啓発活動を行うことで国内における診療の均てん化を図ることを目的とする。

**B. 研究方法**

今年度は、本研究班内での、前眼部形成異常作業班に加わった。Mindsに準拠した診療ガイドライン作成のスコープ作成およびシステマティックレビューに携わった。

**C. 研究結果**

杏林大学・山田昌和先生を中心とする前眼部形成異常作業班の一員として、グループ内での議論を重ねスコープを最終化し、クリニカルクエスチョン(CQ)リストの設定に至った。

(倫理面への配慮)

すべての研究はヘルシンキ宣言の趣旨を尊重し、関連する法令や指針を遵守し、遺伝子解析は順天堂大学倫理審査委員会の承認を得たうえで行こなわれた。また個人情報の漏洩防止、患者への研究参加への説明と同意の取得を徹底した。

**D. 考按**

次年度は、引き続き前眼部形成異常グループの一員として、システマティックレビューチームによりCQリストについてシステマティックレビュー(SR)を行う予定である。

**E. 健康危険情報**

なし

**F. 研究発表**

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

## G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案特許  
なし
3. その他  
なし